

# 2021年度事務局報告書

## 総務グループ 事務局

専務理事 山田 真之介  
事務局長 浅井 洋彰  
財務理事 赤本 優  
会務理事 豊田 圭祐  
広報理事 梅村 晃司



### 【担当事業】

一般会計収支予算書並びに決算書の作成  
事業費支出の審査  
議案書の精査  
理事会、正副理事長会議並びに理事会後の懇親会の設営  
議事録の作成  
議案上程予定の管理  
事業報告書の作成  
対内・対外への広報  
定款・諸規定の管理  
JCルームのデジタル化

#### ・財務理事

予算書・決算書の確認、会費の回収、支出適否の審査

#### ・会務理事

理事会の開催案内

JC ルームデジタル化

議事録の作成

#### ・広報理事

対外:豊川JCに関する広報活動及びPR等、SNSでの発信

対内:Facebookのオンラインサロンを活用してのメンバー情報の共有

### 【実施効果及び成果】

#### ・財務理事

本年度については、メンバーから会費を全額回収しました。

・会務理事

ルームのデジタル化に取り組み、歴史的資料を災害等で紛失したりなくさないようにすることができました。

・広報理事

対外:90投稿(11月22日現在)し、平均300のリーチ数がありましたので、一定数の方が投稿に対して閲覧してもらうことができた。

対内:オンラインサロンを活用したことで、今までFacebookの登録をしていなかったメンバーも登録してもらうことができた。(91名中68名登録)

## 【反省並びに今後の課題】

・財務理事

本来の支払期日までに、会費を回収することはできませんでした。

会社の都合上、支払期日がどうしても間に合わないケースがありますので、支払期日の変更を検討すべきかと思えます。

・会務理事

本年度中にルームの資料をデジタル化することが叶わなかったことは、私の力不足だったと実感しております。

次年度以降には、デジタル化した資料の保存方法が変化したり、容量増えたりと懸念もありますのでしっかり引継をしたいと考えております。

・広報理事

対外:他のツールを活用することができず Facebook しか投稿することができなかった。又、一定のリーチ数があったのにもかかわらずリアクション数が伸びませんでした。投稿に対してメンバーひとり一人が自覚し、「いいね」や「シェア」などをしてもらえるよう呼びかける必要がありました。

対内:Facebookは登録を拒むメンバーも多くいる為、メンバー間の情報の共有に用いるツールとしては相応しくありませんでした。より多くのメンバーに共有してもらうにはLineなど別のツールを用いたほうがいいと思いました。

## 【事務局長所見】

本年度、常務理事兼事務局長として正副理事長会議構成メンバーとして携われたことで事業運営や組織管理を学ぶことができた貴重な1年でした。

また、事務局として、定款や諸規定の見直しやJCルームのデジタル化、オンラインサロンHO

NESTYの立ち上げなど新たな取り組みにも挑戦することが出来ました。

私自身、様々な制約があり、事務局メンバーや理事会構成メンバー、LOMメンバーにご迷惑をおかけしましたが、メンバーの皆様のおかげで、1年全うすることができたと思います。

携わって頂いた皆様に感謝致します。誠にありがとうございました。

### **【専務理事所見】**

本年度は、とても多くの仕組みの改善、改革に挑戦いたしました。裏方作業が多く、脚光を浴びることはありませんでしたが、上記に記された取り組みからも読み取れるように、今後の豊川青年会議所の礎はできたと感じております。

最後に、とても良い仲間が事務局に集いました。全ての事務局会議に、誰一人かけることなく実施できたこと、ズーム会議のデメリット「交流の質低下」も感じることなく、とても良いチームワークが築けました。1年間本当にご苦労様でした。